



校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

やはり大切なのは Limit & shake & confirm の積み重ね

1 このたびの全国学力・学習状況調査で見られた主な課題

【国語1二】米作りの問題点とその解決方法を、グラフの読み取りとカードから分かることをもとに100字以内で書く。

グラフの読み取りはできています。カードから分かることも捉えています。しかし、双方を関連付けること。それを論理的に文章化することに課題が見られた。

【国語1三(1)ア】文脈に沿って同音異義語の漢字を正しく書く。

「意外」を「以外」と回答した。

【算数2(3)】切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを書く。

正三角形の内角がすべて60度ということは概ね分かっている。しかし、問われているのは、テープを半分に折った状態(内角の半分)のこと。それを30度ではなく60度と回答している。

【算数2(4)】底辺の長さが高さが等しいが、形の異なる三角形の大きさを比較する。

底辺の長さが等しいことには概ね着目できています。しかし、高さが数字として示されていないため、高さも等しいことに気付いていない。あるいは、三角形の面積における高さの概念が習得できていない。

【算数3(4)】 $66 \div 3$ の筆算の仕方を説明した図を基に筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ。

筆算の商の位どりの意味を理解せず、機械的に筆算を行っている。

2 領域別の強みと弱み(昨年度比)

- 【国語】○「話すこと・聞くこと」「読むこと」については高水準を維持している。
○記述式問題については、昨年度より大幅に向上している。(本校比+17pt)
●「書くこと」については、全国比では大幅に上回っているが、本校比では-13pt
- 【算数】○すべての領域で国・県比ともに上回っている。「データの活用」が目立って上回っている。
○記述式問題についても国・県比ともに上回っている。
●「図形」については本校比-23pt。

3 このことから、見えてくる本校の課題は？

- 複数の資料を相互に関連付けながら説明する力を付ける必要がある。
- 問われていることに対して、早合点せず回答できる力を付ける必要がある。
- 解き方、法則、概念等の本質をしっかりと理解した上で学習課題の解決に向かわせる必要がある。

4 これらの改善を図るために大切なことは？

- ①授業等における limit (制限する)&shake (ゆさぶる)&confirm (確かめさせる・実感させる) の積み重ね
- ②「なぜ?なぜ?」の教師の問い掛け・「なぜ?なぜ?」が児童から湧き出る授業の積み重ね